



## 第29回日本慢性期医療学会 ポスター決定

第29回 日本慢性期医療学会が2021年10月14-15日にパシフィコ横浜で開催されます。私（院長 鈴木 龍太）が大会長です。学会のテーマは「慢性期医療は進歩する～医療・介護・地域の統合～」です。皆さん奮って発表、参加してください。今回「学会案内ポスター」を募集（院長通信4月号）、最優秀賞にリハビリテーション部 作業療法士 足立 恵美さん、優秀賞にリハビリテーション部 作業療法士 清水 拓人さんが選ばれました。

### 最優秀賞 リハビリテーション部 足立さん

この度は名誉ある賞をいただき、感謝申し上げます。ポスターのデザインは大会テーマである「進化」「統合」をキーワードに複数のギア（歯車）を組み合わせ、パズルのピースをはめて開催地域のみなとみらいを描きました。今後の慢性期医療の発展と成長を願って描いたポスターです。コロナ禍で開催に苦慮することが多いと思いますが、学会の成功を心から祈っています！

### 優秀賞 リハビリテーション部 清水さん

「慢性期医療は進化する～医療・介護・地域の統合～」のテーマをもとに、最先端医療（ロボットや遠隔医療など）や介護・地域が同じ土台でつながっていることを切絵で表現しました。

### 最優秀賞



### 優秀賞



## 2019年度 鶴巻温泉病院 学術研究発表表彰

鶴巻温泉病院学術研究発表会は2019年3月に開催予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で中止になりました。皆さん1年間苦勞して研究した成果ですので、誌面開催とし、優秀発表を選出しました。院長賞 北嶋さん、教育研修推進委員会委員長賞 釘持さん、特別賞にはリハビリテーション部 小竹 康一さん、看護部 潤 武彦さんが選ばれました。

### ● 院長賞 リハビリテーション部 北嶋 葉月さん

#### 「入院から経管栄養を離脱するまでの日数が運動FIM利得に与える影響」

回復期リハ病棟において、入院から経管栄養離脱までの日数が短いほど運動FIM利得の向上に有効であることを証明しました。

このような賞をいただき、とても光栄です。ありがとうございます。今回の研究では、経口摂取を推進することが、患者様の口から食べたいという望みを叶えるだけでなく、日常生活動作の向上にも寄与するという結果を示すことが出来ました。これまでの摂食嚥下チームの取り組みの意義を新たに示すことができ、とても嬉しく思っています。今後もこの取り組みを継続していきたいと思えます。

### 結果②：重回帰分析

	β係数	標準β係数	95%信頼区間		p値
			下限	上限	
性別	-3.354	-0.081	-0.170	0.037	0.206
年齢	-0.143	-0.092	-0.192	0.041	0.201
病型	0.073	0.002	-0.098	0.102	0.970
発症から入院までの日数	-108	-0.136	-0.216	-0.008	0.035
入院日数	0.011	0.023	-0.100	0.138	0.751
mRS	-3.034	-0.197	-0.267	-0.059	0.002
CCI	0.443	0.030	-0.085	0.134	0.661
運動FIM	-0.450	-0.265	0.106	0.430	0.008
認知FIM	0.851	0.334	0.130	0.420	0.000
BMI	0.600	0.104	-0.014	0.186	0.093
介入時FILS	-0.561	-0.021	-0.122	0.088	0.746
経管栄養離脱までの日数	-0.199	-0.321	-0.373	-0.157	0.000
自由度調整済み決定係数			0.312	p=0.000	

### ● 教育研修推進委員会委員長賞 看護部 釘持 明さん

#### 「部分浴実施後の睡眠時間に関する調査」

睡眠前に手浴、足浴をすると睡眠時間が長くなることを特殊な機器（活動量計）を使って証明しました。

この度は、教育研修推進委員会委員長賞をいただき、誠にありがとうございます。今回、「就寝前の手浴と足浴が睡眠時間に及ぶ効果」について取り組みました。毎日入浴できない患者様は部分浴でも効果が得られ、夜間の睡眠時間が延長する結果となりました。長期に入院している患者様の生活の質を向上させるため、今後も取り組みを継続していけるよう努力していきます。

### 使用機器

- Fitbit社製、fitbit alta HR
- 事前に整合性を確認
- 自動的に入眠計測可能
- 睡眠時間のみ計測

